



JASDAQ

## 平成23年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社

上場取引所 大

コード番号 1994

URL <http://www.t-cw.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 高橋 武治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 影山 信博

(TEL) 03 (3271) 1711

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年12月期第3四半期の連結業績(平成23年1月1日~平成23年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第3四半期	4,818	△19.7	△491	—	△494	—	△1,662	—
22年12月期第3四半期	6,003	△38.7	△106	—	△172	—	△117	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第3四半期	△189 93	—
22年12月期第3四半期	△13 25	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第3四半期	12,561	4,323	34.4	495 79
22年12月期	13,996	5,989	42.8	683 44

(参考)自己資本 23年12月期第3四半期

4,319百万円

22年12月期

5,988百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	0 00	—	0 00	0 00
23年12月期	—	0 00	—		
23年12月期(予想)				0 00	0 00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

## 3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日~平成23年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,795	△13.1	△455	—	△460	—	△1,630	—	△187 07

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無  
新規 — (社名)、除外 — 社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 有

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年12月期3Q	9,553,011株	22年12月期	9,553,011株
② 期末自己株式数	23年12月期3Q	839,617株	22年12月期	790,317株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年12月期3Q	8,755,238株	22年12月期3Q	8,871,933株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
【第3四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復旧が徐々にすすめられているものの、欧州諸国で発生した金融不安やそれに伴う急激な円高の長期化等により、経済の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、建設業界におきましては震災からの必死な復旧作業が続けられておりますが、設備投資は低調で厳しい経済環境が続くなか、当社企業グループは徹底したコスト管理と営業・生産の総合力で受注高確保を図っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は48億18百万円（前年同四半期比19.7%減）、営業損失4億91百万円（前年同四半期は1億6百万円の営業損失）、経常損失4億94百万円（前年同四半期は1億72百万円の経常損失）、四半期純損失16億62百万円（前年同四半期は1億17百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①PCカーテンウォール事業

生産設備の拡充と営業力強化による差別化製品の受注拡大を図っております。

この結果、売上高は38億22百万円、セグメント損失は2億58百万円となりました。

#### ②アクア事業

当期から力を入れているメンテナンス分野での受注を伸ばしています。

この結果、売上高は1億38百万円、セグメント損失は42百万円となりました。

#### ③システム収納家具事業

厳しい価額競争が続く中、更なるコストダウンと選別受注による受注単価の改善を図っております。

この結果、売上高は1億66百万円、セグメント損失は87百万円となりました。

#### ④建設事業

組織のスリム化と内装事業・リニューアル事業での収益確保を目指しております。

この結果、売上高は7億円、セグメント損失は46百万円となりました。

#### ⑤その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び環境関連ビジネスであります。当セグメントの売上高は1億26百万円、セグメント損失は63百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は125億61百万円と前連結会計年度末と比較して14億35百万円の減少となりました。これは主に受取手形・完成工事未収入金等が7億64百万円、土地が6億87百万円減少したことによるものであります。

#### ②負債の状況

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は82億38百万円と前連結会計年度末と比較して2億30百万円の増加となりました。これは主に短期借入金が増加し、支払手形・工事未払金等が1億83百万円、社債が4億98百万円減少したことによるものであります。

③純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は43億23百万円と前連結会計年度末と比較して16億66百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金が、四半期純損失の計上により16億62百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年8月9日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

#### ① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

#### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

(資産除去債務に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業損失及び経常損失は、それぞれ1,176千円増加し、税金等調整前四半期純損失は6,019千円増加しております。

(表示方法の変更)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

- 1 前第3四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めていた「鉄屑売却収入」(前第3四半期連結累計期間23,673千円)については、営業外収益総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記しております。
- 2 前第3四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めていた「不動産賃貸費用」(前第3四半期連結累計期間25,144千円)については、営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記しております。
- 3 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	544,073	614,092
受取手形・完成工事未収入金等	1,187,799	1,952,281
未成工事支出金	2,532,832	2,208,098
その他のたな卸資産	131,383	237,908
その他	138,956	120,186
貸倒引当金	△6,300	△6,300
流動資産合計	4,528,745	5,126,267
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,376,938	1,417,388
土地	1,761,877	2,449,437
その他(純額)	277,661	226,934
有形固定資産合計	3,416,477	4,093,760
無形固定資産		
投資その他の資産	198,777	185,313
投資有価証券	225,807	233,500
投資不動産(純額)	2,323,292	2,090,788
保険積立金	1,049,518	1,061,880
その他	861,365	1,247,824
貸倒引当金	△42,467	△42,367
投資その他の資産合計	4,417,516	4,591,627
固定資産合計	8,032,771	8,870,702
資産合計	12,561,516	13,996,969
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	972,297	1,155,986
短期借入金	2,112,088	1,341,428
1年内償還予定の社債	731,400	758,600
未成工事受入金	650,015	409,393
引当金	196,674	115,174
その他	126,547	301,206
流動負債合計	4,789,023	4,081,789
固定負債		
社債	1,488,900	1,987,000
長期借入金	1,217,407	1,268,639
役員退職慰労引当金	372,167	359,988
引当金	1,515	1,218
その他	369,003	308,481
固定負債合計	3,448,992	3,925,326
負債合計	8,238,015	8,007,115

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,542,968	4,542,968
資本剰余金	1,697,751	1,697,751
利益剰余金	△1,744,802	△81,929
自己株式	△153,729	△148,506
株主資本合計	4,342,187	6,010,284
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△22,189	△21,521
評価・換算差額等合計	△22,189	△21,521
新株予約権	3,503	1,092
純資産合計	4,323,501	5,989,854
負債純資産合計	12,561,516	13,996,969

## (2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
完成工事高	6,003,204	4,818,433
完成工事原価	5,335,339	4,706,559
完成工事総利益	667,864	111,873
販売費及び一般管理費	774,769	603,154
営業損失(△)	△106,904	△491,280
営業外収益		
受取利息	1,446	1,434
投資有価証券売却益	5,828	567
投資不動産賃貸料	41,587	38,734
鉄屑売却収入	—	25,382
その他	94,253	51,457
営業外収益合計	143,115	117,576
営業外費用		
支払利息	56,186	57,024
社債発行費	13,564	2,409
投資有価証券評価損	27,967	5,040
不動産賃貸費用	—	26,932
その他	111,062	29,547
営業外費用合計	208,780	120,954
経常損失(△)	△172,570	△494,658
特別利益		
完成工事補償引当金戻入額	—	3,700
固定資産売却益	39,960	—
役員退職慰労引当金戻入額	4,650	—
特別利益合計	44,610	3,700
特別損失		
固定資産売却損	—	185
固定資産除却損	1,458	41,983
減損損失	—	677,000
災害による損失	—	35,627
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4,842
特別損失合計	1,458	759,639
税金等調整前四半期純損失(△)	△129,418	△1,250,598
法人税、住民税及び事業税	7,742	7,761
法人税等調整額	△2,638	404,513
法人税等還付税額	△12,214	—
過年度法人税等戻入額	△4,722	—
法人税等合計	△11,833	412,275
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△1,662,873
四半期純損失(△)	△117,585	△1,662,873

## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
完成工事高	1,154,575	882,609
完成工事原価	1,029,052	891,206
完成工事総利益又は完成工事総損失(△)	125,523	△8,597
販売費及び一般管理費	245,444	187,221
営業損失(△)	△119,920	△195,818
営業外収益		
受取利息	659	429
投資有価証券売却益	1,366	—
投資不動産賃貸料	16,571	9,754
技術指導料	—	10,500
その他	32,024	22,977
営業外収益合計	50,622	43,661
営業外費用		
支払利息	18,269	19,215
投資有価証券評価損	13,869	1,700
支払手数料	33,000	—
その他	38,952	21,115
営業外費用合計	104,091	42,031
経常損失(△)	△173,389	△194,188
特別利益		
完成工事補償引当金戻入額	—	960
固定資産売却益	39,960	—
特別利益合計	39,960	960
特別損失		
固定資産売却損	—	185
固定資産除却損	137	22,190
災害による損失	—	6,139
特別損失合計	137	28,515
税金等調整前四半期純損失(△)	△133,566	△221,744
法人税、住民税及び事業税	2,677	2,674
法人税等調整額	396	△2,854
法人税等合計	3,074	△180
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△221,563
四半期純損失(△)	△136,641	△221,563

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△129,418	△1,250,598
減価償却費	187,241	165,589
減損損失	—	677,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	25,050	100
投資有価証券評価損益(△は益)	27,967	5,040
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4,842
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	15,321	12,179
引当金の増減額(△は減少)	13,291	81,797
固定資産売却損益(△は益)	△39,960	—
受取利息及び受取配当金	△5,153	△3,096
投資有価証券売却損益(△は益)	991	△567
支払利息	56,186	57,024
売上債権の増減額(△は増加)	740,658	764,481
未成工事支出金の増減額(△は増加)	755,498	△324,733
その他のたな卸資産の増減額(△は増加)	34,131	106,524
その他の資産の増減額(△は増加)	△34,662	△10,994
仕入債務の増減額(△は減少)	△360,949	△183,689
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△297,066	240,621
その他の負債の増減額(△は減少)	△77,071	△155,078
その他	△17,352	22,264
小計	894,704	208,707
利息及び配当金の受取額	5,346	3,242
利息の支払額	△58,514	△58,389
法人税等の支払額	△11,527	△10,055
営業活動によるキャッシュ・フロー	830,008	143,504
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△78,642	△179,583
無形固定資産の取得による支出	—	△18,452
投資有価証券の取得による支出	△50,452	△759
投資有価証券の売却による収入	61,110	3,312
投資不動産の売却による収入	110,000	—
投資不動産の取得による支出	—	△211,109
貸付けによる支出	△9,400	△4,100
貸付金の回収による収入	33,560	7,377
その他	△9,807	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	56,368	△403,325

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△45,125	804,000
長期借入れによる収入	1,100,000	—
長期借入金の返済による支出	△147,312	△84,572
社債の発行による収入	386,435	97,590
社債の償還による支出	△651,900	△625,300
自己株式の取得による支出	△142,402	△5,223
配当金の支払額	△87,542	△558
その他	△12,488	7,511
財務活動によるキャッシュ・フロー	399,664	193,448
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,317	△3,646
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,282,723	△70,018
現金及び現金同等物の期首残高	857,362	474,092
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	25,255	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,165,341	404,073

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

## 1 報告セグメントの概要

当社企業グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社企業グループは、顧客に提供する製品・サービスの特性をベースとして構成した、「PCカーテンウォール事業」、「アクア事業」、「システム収納家具事業」、「建設事業」の4つを報告セグメントとしております。

「PCカーテンウォール事業」は、主としてオフィスビルの外壁の設計・製造・施工を行っております。

「アクア事業」は、スポーツ施設及び各種温浴施設の企画・設計・施工を行っております。

「システム収納家具事業」は、システム収納家具の設計・製造・施工を行っており、「建設事業」は、商業施設、アミューズメント施設の内装に関する企画・設計・施工及び建築工事全般に関する企画・設計・施工を行っております。

## 2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	PCカーテン ウォール事 業	アクア事 業	システム 収納家具 事業	建設事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	3,822,484	138,813	166,150	565,301	4,692,750	125,682	4,818,433	—	4,818,433
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	135,073	135,073	606	135,679	△135,679	—
計	3,822,484	138,813	166,150	700,374	4,827,823	126,289	4,954,112	△135,679	4,818,433
セグメント損 失(△)	△258,266	△42,276	△87,471	△46,996	△435,010	△63,755	△498,766	7,485	△491,280

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び環境関連ビジネスであります。

2 セグメント損失(△)の調整額7,485千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	PCカーテン ウォール事 業	アクア事 業	システム 収納家具 事業	建設事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	656,467	5,665	36,188	131,836	830,158	52,451	882,609	—	882,609
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	860	860	146	1,006	△1,006	—
計	656,467	5,665	36,188	132,696	831,018	52,597	883,615	△1,006	882,609
セグメント利 益又はセグメ ント損失(△)	△179,214	△18,686	△12,631	△14,229	△224,761	22,697	△202,064	6,245	△195,818

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び環境関連ビジネスであります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額6,245千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

### 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

### (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。